



ハリストス正教会 (佐々木 壮一・的場中学校・平成8年卒)

夕陽

函館市支部会報

発行所
夕陽会 函館市支部
函館市立的場中学校
印刷 (株)島本印刷



母校、そして我が支部

夕陽会函館市支部 支部長 小山内 武 弘

今夏は久しぶりの猛暑でした。皆様にはお元気でお過ごしでしたでしょうか。七月の豪雨では、特に中部・北陸地方に大きな被害があり、連日その様子が報道されました。その中で、被災地の復旧に役立ててと、宝くじで当たった2億円を匿名で寄付した人がいて、一服清涼の話題となりました。凡人はびつくりし、ただ感心するばかりです。どうして、世の中捨てたものじゃありません。

また、一連の報道の中で、現地に駆けつけたボランティアの存在と、その活動のようすが紹介されてきました。あの阪神・淡路大震災や日本海での重油流出事故などの際もそうでしたが、私たちの社会は、一旦事があれば、こんなにも多くの善意が実際の行動となつて結集する力があることを実感させてくれました。被災地の皆さんだけでなく、私たちにも大きな勇気を与えてくれたのではないのでしょうか。そして、そのボランティアの中に、ちょうど夏休みを迎えた大学生や高校生だけでなく、中学生や小学生の姿まであったのは、ただ健気で微笑ましい光景と言つ以上に、実に頼もしく、この国の将来に光明を見いだす気がしました。

さて、本年四月一日、全国の国立大学の法人化により、我が母校は「国立大学法人北海道教育大学函館校」となりました。一九一四年(大正三)に北海道函館師範学校として創設され、その後幾多の変遷を経ながら、北海道固有の歴史・文化・風土に根差し、世を担う有為な人材の育成に果たしてきた役割とその赫々たる実績は、まさに揺るぎなく、私も同窓の誇りとするところでありませう。爾来、今年で奇しくも九十年。今ここで、母校はその装いをさらに新たにしていくなりにます。文科者の「国立大学の構造改革の方針」を受け、昨年九月に示された「北海道教育大学将来構想基本方針」において、函館校は芸術・スポーツ系を除く新課程の集約や、教養系新課程の集約・再編に対応した大学院(専攻)の設置を目指すほか、教員養成に関しては、開放性の教員養成機能を組み込むこととされています。

ただ、現教員養成課程のこれまでの歴史的経過や実績を考えた時、函館校として、道南圏はもとより、青函・東北との経済・文化圏の形成をも視野に入れ、地域の負担に応えていく意味からも、教育・研究の基盤充実は、私たちの強い念願となっています。十七年度夏に新キャンパス構想の決定、翌十八年度に再編後の学生募集というスケジュールの中で事は動いています。

ところで、この六月の本部総会で、安島進前会長がご退任されました。そのお人柄と相俟つての、精力的に的的確なご指導の数々と幾多のご労苦に、心からなる敬意と感謝を申し上げます。そして、川島孝夫新会長におかれましては、その深い洞察と先見性に加うる、広い懐を以て私どもを導いてくださいます事必定でありませうが、どうかよろしくお願い申し上げます。

当然とは申せ、函館市支部としても、当面する市町村合併による組織の広域化も念頭に、努力をして参る所存です。どうか、支部会員皆様の一層のご支援をお願いいたします。

教師としての在り方を学んだ函館の地で、再び仕事をさせていただく縁をいただき、三ヶ月が過ぎ去りました。多くの方々からいただく心にしみる励ましを支えにして、感謝の気持ちを抱きつつ、一日一日を味わっています。

先日、市内の学校で行われた授業研究会に参加する機会をいただきました。会も終了し、学校を後にする時、校長先生、教頭先生、授業をされた先生や研究担当



平馬 隆司

その姿が見えなくなるまで見送る習慣があり、この姿勢を「残心の礼」と呼んでいるそうです。子どもとの別れも同様で、毎日、下校時刻になると、全教職員が三つの校門に分かれ、最後の生徒の姿が見えなくなるまで見送っているそうです。教師がかかる一言を背に子どもたちは家路を急ぐので

「残心の礼」

の先生が玄關まで見送りに出てくださいました。わずかの時間の出来事ではありましたが、見送ってくださる皆さんの温もりで満ちた笑顔に、出合いの妙を感じました。そして、「残心の礼」という言葉を思い出しました。

ある学校では、お客様が帰られる時、

一歩



石井 望

四月十六日から函館市立中部小学校に赴任し、早くも三ヶ月以上が過ぎようとしています。「職場には慣れたかい」と聞かれるたびに考え込んでしまうほど、それほどの日が経ったという実感がありません。元氣いっぱいの子ども達と共に、あつという間に日々が過ぎていきます。そんな中で、早く慣れなければ、成長しなければ、という焦りがつのることもしばしばです。しかし、私は昨年非常勤講師をつとめる中

人の出合いの意味は案外このようなく心の構えにあるのかもしれない。私も「残心の礼」を心底に刻み、教師との出合い方、学校とのかわり方に努めたいと自身に言い聞かせています。

(函館市教育委員会指導主事)

で、先輩の先生からこのような言葉をかけていただきました。「満足のいく授業をするには、十年は教壇に立たないと。今は焦らず、気負わずに修業しなさい」

早く先に進むとうと焦らずに、今の前にいる子ども達とゆっくり向き合っ、一歩ずつ進んで行こう。その気持ちをお忘れずに歩きたいと思えます。

夕陽会の先輩方をはじめとした、たくさん先輩方からたくさんのごことを学び取り、どんどん活かしていきたいです。

まずは、一歩。

(函館市立中部小学校)

新たな気持ちで

この春、着任した中島小学校は、箱館戦争の陣屋跡に開校した歴史と伝統のある学校です。子どもたちは、人情に厚い地域の方々に「地域の子ども」として慈しみ育まれています。学校は、商店街や町内会、児童館や学童保育所、保育所等の方々、学習や生活面での支援・協力をしていただいています。



森武 由美子

心を合わせて

先日、五年生が、「特別養護老人ホーム愛泉寮」を訪問して、七夕ふれあい交流をしました。四年生の時に似顔絵を描いてあげた方と再会できて手を取り合っって喜んだ子。お年寄りに顔を寄せて話しかけている子。

実りある出合い



飯澤 静

今年度、函館市の教諭として正式に採用され、函館市立中島小学校に着任いたしました。

私は北海道教育大学函館校を卒業後、黒松内町立黒松内小学校に六ヶ月、浜頓別町立豊寒別小学校に八ヶ月、期限付き教諭として勤務してきました。先生として子ども達の前に立った時の緊張感、先生という立場の責任の重さを目の当たりにした時の恐さに逃げ出したくなつたこともありました。しかし、

お年よりの手をさすってあげている。学校での様子とひと味違った表情や姿をみせてくれた子どもたちに嬉しく幸せな気持ちになりました。「愛泉寮」との交流活動は、昭和四十二年に始まり、父母によるボランティア活動も昭和六十三年から続いています。教職員とPTAや地域の方々が、努力を積み重ねてこられた成果だと思えます。

昨年、開校七十周年を盛大に終え、新たな一歩を歩み出しました。保護者の皆様や地域の方々の温もりと支えを実感しながら、心豊かな子どもたちを育む教育活動を一層充実したいと思っております。

(函館市立中島小学校長)

いつも周りの多くの先輩や友人に励まされて、乗り越えてくることができました。子ども達の笑顔や真っ直ぐな気持ちに勇気づけられました。

現在、四年生三十二名の担任をしています。一学期は、息つく間もないほど目まぐるしい毎日を、ただただ駆け抜けてきました。今改めて感じる責任の重さは、今までの比では無いように感じています。しかし、周囲には頼れる先輩、元氣いっばいの子ども達がいいます。

これからもっと色々なことがあると思えます。しかし、たくさんのお出合い、多くの人との関わりを通して、教師としての資質を高めていきたいと考えています。

(函館市立中島小学校)

“学校の先生になりたい。”私がそう考えるようになったのは、中学生のときでした。先生が「多くの人と接し、その人が育つ喜びとともに味わえるのがいきがいで」と話したのがきっかけでした。

人と人のつながり



平野 高志

今は、自分が教壇に立つ立場になり、子どもが目標を持ち、努力していく姿を見られる喜びと、子どもに目標を持たせる難しさを肌で実感している最中です。それでも、自分が目指していた教員として第一歩を踏み出すことができ、充実感のある毎日を送っています。

これからは、西中学校で子ども達のためにできることを考え、一つでも多く実行できるよう努力していきたいです。

(函館市立西中学校)

目標を持つて



大田 康裕

不安とそれ以上の期待を持って、四月一日から勤務してまいりましたが、気がつけば早いものでもう四ヶ月が過ぎようとしています。今年の三月に大学を卒業し、学生気分が抜けきらないまま一学期を終えてしまったことを大いに反省しています。副担任としてのスタートということで、担任の学級経営やその他学校の動きというものを落ち着いて見て学ぶことが出来たような気がします。部活動ではソフトテニス部の顧問ということで、今年は部活動のマネジメントを通じて、生徒との関

親会の会場で、大学の時にお世話になった方、臨時で勤めていたときに沢山のことを教えてくださった方にお会いすることができました。このような諸先輩方に自分自身も育っていただいたことにお礼を申し上げるとともに、子ども達が育つ助けをできることに感謝したいと思います。

わり方を体験の中から学んでいきたいと考えています。また、教科指導についても発問の仕方や話し方を一つ一つ研鑽する中で身につけていきたいと考えています。

これからは経験したことから一つでも多くのことを学びとる姿勢を忘れないで、常に達成可能な目標を持ち続けて職務の遂行に努めたいと考えています。夕陽会の大先輩方にはこれからたくさんのご迷惑をおかけするとは思いますが、若さという、たった一つの武器を生かして全力で職務に当たることで期待に応える所存です。

自分は、子ども達に何が伝えられるのか？それは自分の生きる姿勢だと私は思っています。人との出会いを大切にして、常にメッセージを発信していきたいような教師をめざしていきたいと思えます。

(函館市立大川中学校)

新会員になって

宇賀の浦中学校で働いて四ヶ月弱、この一学期は本当に怒涛のような毎日でした。行事や授業の準備におわれ、その合間に初任者研修があつて、もちろん部活動等の指導もあつてと、本当に忙しくて大変な毎日でした。しかし、充実した毎日に、教職に就けて本当に良かったと実感しています。



弓庭 卓

多くの人に支えられて

私は大学を卒業してから昨年度までの二年間、函館短期大学のフットネスセンターというところに勤めていました。ですから、宇賀の浦中学校は私にとつて本当に

初めて学校です。四月には右も左もわからない状態でしたが、同じ職場の夕陽会の先輩に色々とお話を聞き、励ましていただき、なんとか怒涛の一学期を無事終わらせました。実は前の職場の函館短期大学にも数多く夕陽会の先輩がいらしたので、相談にのつていただいたり、励ましていただいたりということがありました。本当に多くの同窓の先輩に支えられていることを感じますし、幸せに思います。

(函館市立宇賀の浦中学校)

「生徒と共に」



七澤 智子

今年の四月から港中学校に勤務し、もう四ヶ月が過ぎました。毎日新しい発見が沢山あり、楽しく過ごしています。昨年は一年間高校で講師をしていましたが、自分は教師としてやっていけるのかと何度も悩みました。その度に、先輩方に励ましていただいて、今年、夢だった中学校の教師になることができました。実際に生徒達と生活してみて、それまでの不安や悩みが吹き飛んでしま

教師という仕事は、人と向き合っていく職業で、完璧にはたどりつけない仕事だと思えます。ただ、私は教師としても、人間としても、まだまだ未熟です。これから、先輩方からいろいろなことを学びながら、生徒と共に成長していきたいと思えます。

(函館市立港中学校)

平成16年度 支部 運営方針

母校開学の精神「土地墾闢・人民蕃殖」の精神を確かめ、支部会員の資質高揚と親睦の和を深めることを目指した会務の運営に努める。
合わせて夕陽会の充実発展に寄与する。

- 一、本部との連携を深め、会員親睦の充実に努める。
- 二、幹事、若手会員を核に、「創造し行動する夕陽会」の浸透に努める。
- 三、会員の慶弔に対し、適切に対処する。
- 四、会員の動向を的確にとらえ、組織強化ならびに会計の効率化を図る。
- 五、広報活動の充実に努める。

支部役員・業務内容

役員

役職	氏名	卒業年次	所屬
支部長	小山内武弘	42年卒	函館市立的場中学校長
副支部長	伊藤皓嗣	44年卒	函館市立あさひ小学校長
監査	青木完二	54年卒	教育委員会指導室長
幹事長	真崎不二彦	28年卒	函館護国神社宮司
副幹事長	熊谷光洋	50年卒	函館市立湯川小学校教頭
	青木昌史	53年卒	函館市立五稜中学校教頭
	田野中敏	49年卒	函館市立的場中学校教頭
	林潤子	52年卒	函館市立鳳凰中学校教頭
	長谷川秀雄	62年卒	函館市立的場中学校教頭

顧問

氏名	卒業年次
元支部長 山尾正	23年卒
元支部長 高井信行	30年卒
元支部長 川島孝夫	31年卒
元支部長 藤谷利春	32年卒
元支部長 板東忠康	33年卒
元支部長 池上信廣	37年卒
元支部長 齊藤正宏	39年卒
前支部長 寺岡昭治	42年卒
前支部長 塩崎設男	43年卒
現校長 石戸大機	42年卒

二、主な業務内容

- 一、支部総会
- 二、受賞祝賀会
- 三、支部会報の発行
- 四、新入会員激励会
- 五、役員会、学校幹事会
- 六、本部事業への協力(総会、懇親会・その他)
- 七、会費(本部会費・支部会費)の集約
- 八、特別業務
 - ・結婚会員へのご祝福・祝電
 - ・逝去会員への供花・弔電
 - ・受賞会員昇任会員への祝電

平成15年度 一般会計決算書

1. 収入の部

項目	予算額	決算額	増減()	摘要
会費	1,190,000	1,214,000	24,000	現職会員 839名 現職外会員 60名
繰越金	473,074	473,074	0	
繰入金	100,000	100,000	0	前納会計から
雑収入	26	23	3	貯金利子
合計	1,763,100	1,787,097	23,997	

2. 支出の部

項目	予算額	決算額	増減()	摘要
事務費	420,000	401,118	18,882	封筒印刷・送料・用品
事業費	620,000	341,446	278,554	会報・幹事会
会議費	330,000	276,687	53,313	総会・役員会
慶弔費	300,000	296,331	3,669	祝電・弔電・供花
振込手数料	35,000	16,980	18,020	
雑費	40,000	840	39,160	クリーニング
予備費	18,100	5,000	13,100	香典
合計	1,763,100	1,338,402	424,688	

収支決算

(収入)1 787 097 - (支出)1 338 402
=(残高)448 695

平成16年度 予算案

1. 収入の部

項目	前年度決算額	本年度予算額	増減()	備考
会費	1,214,000	1,050,000	164,000	現職会員 800名 現職外会員 50名 前納会員 630名
繰越金	473,074	448,695	24,379	
繰入金	100,000	100,000	0	前納会計から
雑収入	23	20	3	貯金利子
合計	1,787,097	1,598,715	188,382	

2. 支出の部

項目	前年度決算額	本年度予算額	増減()	備考
事務費	401,118	420,000	18,882	封筒印刷・送料・用品
事業費	341,446	420,000	78,554	会報・幹事会
会議費	276,687	330,000	53,313	総会・役員会
慶弔費	296,331	350,000	53,669	祝電・弔電・供花
振込手数料	16,980	20,000	3,020	
雑費	840	20,000	19,160	
予備費	5,000	38,715	33,715	
合計	1,338,402	1,598,715	260,313	

3. 現職外前納会計

合計残高	2,191,576
郵便局定額貯金証書	428,000
普通貯金通帳記載定額貯金	1,500,000
普通貯金総合通帳残高	263,576

● 転入会員

● 新採用会員



阿部智子	渡邊之(附屬中)	菅政也(赤川中)	風和(深堀中)	長紀(的場中)	櫻井康(光成中)	岩本秀英(潮見中)	新田英健(神山小)	鎌倉二(北原小)	高山修(中央小)	吉田幸(昭和)	井田隆(昭和)	福田美(北昭和)	佐々木いづみ(桔梗小)	工藤佳(桔梗小)	大田淳(旭岡小)	多田誠(高丘小)	山田伸(高丘小)	土野友(日吉丘小)	北村美昭(日吉丘小)	竹内昭勝(千代田小)	外崎人(港あさひ小)	菅野博(あさひ小)	佐藤充(弥生小)	茂木敦子(西小)
------	----------	----------	---------	---------	----------	-----------	-----------	----------	----------	---------	---------	----------	-------------	----------	----------	----------	----------	-----------	------------	------------	------------	-----------	----------	----------

日吉が丘小	深堀小	駒場小	金堀小	柏野小	千代田小	中島小	千代ヶ岱小	高盛小	港盛小	万年橋小	八幡小	北星小	中さひ小	あさひ小	青柳小	弥生小	西森小	学校名	学校幹事名	会員数
吉崎友康	高橋ひとみ	大久保雄治	村瀬弘枝	高橋絵理子	竹内昭夫	笹森奈津乃	瀧谷恵子	三橋政樹	波川秀樹	須田直哉	後藤博	佐藤光	佐藤祐健	小久徳子	久徳子	森川照代				
15	13	15	15	17	9	10	10	10	18	4	18	4	9	13	11	10	5			

● 各学校幹事

中山利宏(附屬幼)	横山友紀(湯川中)	梶澤健太(港中)	七田智子(港中)	大庭裕(大川中)	弓庭卓(宇賀浦中)	平野志(西小)	本間也(中央小)	山下慶(東小)	飯澤静(中島小)	石井望(中部小)	学校名	学校幹事名	会員数

旭岡中	戸倉中	湯川中	深堀中	的場中	光成中	港成中	大川中	五稜中	凌雲中	宇賀の浦中	潮見中	西野中	附屬函館小	南本通小	本通小	東山小	神山小	鍛冶神小	北原小	中央小	赤川小	龜田小	昭和小	北沢小	中の小	桔梗小	石崎小	東川小	鱒川小	龜尾小	旭岡小	上湯川小	高丘小	湯川小	北日吉小
倉中	吉田	桜井	小櫻井	七澤	大田	木村	黒田	川村	小野寺	平野	櫻野	榎野	堀野	真川	永井	伊波	中貝	小林	三上	茶木	吉田	福永	大島	石川	村上	内田	大谷	佐藤	黒川	土谷	杉村	佐々木	石岡	山田	
世渡二	渡信	享純	紋子	康宏	智子	康裕	麻岐	永輔	秀晴	徹志	高野	人憲	武子	知子	涉子	恭朋	貝朋	上育	泰生	木太	吉丈	福恵	大康	石兼	村上	内直	大廣	佐達	黒賢	土留	杉理	佐々大	石貴	山悟	
9	16	16	13	16	6	12	11	9	8	6	9	7	15	12	15	15	17	19	19	21	7	14	19	13	10	17	4	10	9	8	13	5	14	21	15



會計部	広報部	庶務部	総務部	分掌
佐々木壮一・鈴木健二	中田和子	野村真紀子・蛭子友正	山川友洋	氏名
			木代堅巳・子原恵美	
			安瀧万知子・武田寛	
			田野中敏・長谷川秀雄	

支部事務局組織(的場中)

附屬養護	附屬幼	万年橋幼	市教委	付属中	北通中	桐花中	龜田中	桔梗中	赤川中	銭亀沢中
吉成透	中山利	戸澤裕美	鳴海康	秋山範	腰岡千繪	信田博	森谷剛	平田裕	加賀俊	鈴浦一
5	5	1	9	15	14	21	14	22	8	11

夕陽会函館市支部規約

第一条 この会は、北海道教育大学夕陽会函館市支部と称する。(夕陽会函館市支部と略称する)

第二条 この会の事務局は、支部長の勤務先に置く。

第三条 この会は夕陽会会則に基づき、支部会員相互の親睦と発展を図ると共に、地域の教育・文化の進展に寄与することを目的とする。

第四条 この会は、その目的を達成するため次のことを行う。

- 一、総会
- 二、親睦会
- 三、会員の慶弔に関する事
- 四、支部会報の発行
- 五、教育研究諸会合
- 六、その他必要と認められるもの

第五条 この会は、函館市及びその近郊に在住する次の各号に該当するものをもって会員とする。

- 一、北海道函館師範学校卒業生
- 二、北海道第一師範学校卒業生
- 三、北海道学芸大学函館分校卒業生及び修了生
- 四、北海道教育大学函館分校卒業生及び修了生
- 五、北海道教育大学函館校卒業生及び大学院修了生
- 六、母校に在学した者(講習科、養成所も含む)

第六条 この会の役員は次のように定める。

- 一、役員
- (一) 支部長 一名
- (二) 支部部長 一名
- (三) 幹事長 一名
- (四) 副幹事長 若干名

- (五) 幹事 若干名
- (六) 監査委員 三名

二、選出方法
(一) 支部長、監査委員は選考委員により選考し、総会の承認を求めらる。

(二) 支部部長、幹事長、副幹事長は支部長が委嘱し、総会の承認を求めらる。

(三) 幹事は、勤務先その他ブロック毎に一名を選出し、支部長が委嘱する。

三、任 務

(一) 支部長は、支部を代表し会務を統理する。

(二) 支部部長は、支部長を補佐し、支部長に事故ある時はこれを代行する。

(三) 幹事長は、支部長の命を受け、会務を処理する。

(四) 副幹事長は、幹事長を補佐する。

(五) 幹事は、勤務先その他ブロックを代表し、会務を分担する。

(六) 監査委員は、支部の会務及び会計を監査する。

四、任 期

(一) 支部長、副支部長、監査委員は二年とする。

(二) 幹事長、副幹事長、幹事は一年とする。

(三) 欠員による補充役員は、前任者の残任期間とする。

(四) 再任は妨げない。

第七条 この会は、顧問を若干名置くことができる。

一、顧問は、この会の重要な事項に關し支部長の諮問に応じる。

二、顧問は、支部長が委嘱する。
第八条 この会の会議は、次のように定

める。

一、総 会

(一) 定期総会は、年一回支部長が招集し、会務、会計、規約、役員、その他の議題を審議する。

(二) 臨時総会は、必要に応じて支部長が招集し、定期総会に準じて行う。

二、幹事会

必要に応じて支部長が招集し、この会の基本的な事項について協議し遂行する。

三、その他、必要とするもの。

第九条 この会の収入は、次の通りとする。

一、会 費

(一) 通常会費は、年額一、〇〇〇円とする。

(二) 前納会費は、別途規定を設ける。

二、寄附金

三、事業による収益金

四、その他

第十条 この会の支出は、次の通りとする。

一、会議その他事業費一般

二、懇親会その他会合費

三、慶弔費

(一) 会員の結婚は祝儀五、〇〇〇円と祝電

(二) 会員の受賞、栄進等は祝電

(三) 会員の死亡は供花と弔電

(四) その他必要なものは、支部長、副支部長、幹事長の協議による。

第十一条 この会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

付 則 平成五年四月十七日改正

平成九年四月十九日改正

平成十三年四月二十一日改正

事務局だより

・ 函館市支部会報第六十六号が出来上がりましたのでお届けします。

・ 本会報の発行に際しましては、ご多用中にもかかわらず、昇任・転入・新会員の方々から、心のこもった原稿をお寄せいただきました。深く感謝申し上げます。

・ さて、去る五月二十七日、ホテルロイヤル柏木にて、ご来賓として安島会長・藤川幹事長のご臨席をいただき、「幹事会及び新会員・幹事懇親会」を開催しました。清新の気溢れる新卒会員と転入会員を囲み、幹事の方々の和やかな歓談の中で、山尾正、高井信行、川島孝夫各顧問から、温かい励ましや示唆に富んだお話もあり、同窓の絆を一層深くしたところです。

・ 年明けの二月二十五日(金)、恒例の「支部受賞祝賀会ならびに会員懇親会」を予定しております。お誘い合わせのうえ、ぜひ多数のご参加を。

・ 会員の方に慶弔がありましたら事務局(的場中学校) 田野中または、長谷川まで早めにご一報ください。

・ 支部事務局へのご連絡などは、次の所へお願いいたします。

041 0021 函館市の場町十二番七号

函館市立的中学校

電話番号(〇三三八)五二五二〇八

FAX番号(〇三三八)五二五二〇九